



平成30年度

統計グラフ佐賀県コンクール 入賞作品集



祝
入賞

はじめに

佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に226点の応募があり、特選6点、入選22点、佳作50点、特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞が1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された佐賀大学教育学部附属小学校、佐賀市立大和中学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞した作品の中から優秀な作品20点を全国コンクールに出品したところ、1点が入選に、2点が佳作に入賞しました。

★平成30年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況★

部 門	応 募 作 品 数	応 募 者 数
第1部（小学校1～2年生）	25	27
第2部（小学校3～4年生）	61	64
第3部（小学校5～6年生）	80	97
第4部（中学生）	18	44
第5部（高校生～一般）	3	15
パソコン統計グラフの部	39	49
合 計	226	296

※規格外作品含む

【主催・後援】

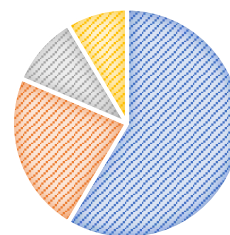
主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、サガテレビ



【審査員】

牛丸 和人氏（西九州大学短期大学部 教授） 他8名



●総評（審査にあたって）

本年度は全9名の審査員で協議をしながら厳正な審査を行いました。審査の際には、「①グラフを作成する際のデータ（根拠となる数値など）がきちんと添付されているか?」「②6つのそれぞれの部門に応じたテーマの設定やグラフの種類を選択、そして表現技法が用いられているか?」「③自分だけの興味・関心にとどまらず、グラフを見る人達の興味・関心を引きつけるようなデザイン（グラフやイラストの配置・色づかい・表題の言葉や文字の種類など）が工夫されているか?」ということを総合的に判断しながら評価していきました。

全体的に、どの部門も年々作品の質（内容や表現力）が高くなってきているという印象を受けました。その理由の一つとして、学校や家庭における先生方や保護者の皆様方のきめ細かなご指導やご支援、また「統計グラフ・ワークショップ」への積極的な参加などが挙げられると思われまます。本コンクールへのご理解とご協力に心から感謝いたします。

部門ごとでは、パソコン部門における中学生の応募作品数の増加や内容のレベルアップが特に印象に残りました。

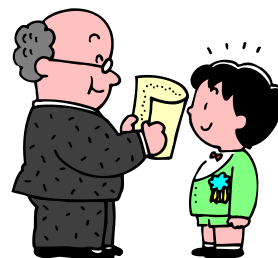
身のまわりの様々な変化に気づいたり、問題を解決したりしていく際に、「統計」はとても重要な役割を果たします。今後も、日常生活の中で目にする様々な「統計」に意識を向けて欲しいと思いますし、そのことを今後の「統計グラフ」の制作にも生かして欲しいと願っています。

西九州大学短期大学部 教授 牛丸 和人

【表彰式】

日時：平成30年11月15日（木曜日）

場所：佐賀県庁 旧館4階 正庁



【入賞作品展示】

日時：平成30年11月14日（水曜日）～17日（土曜日）

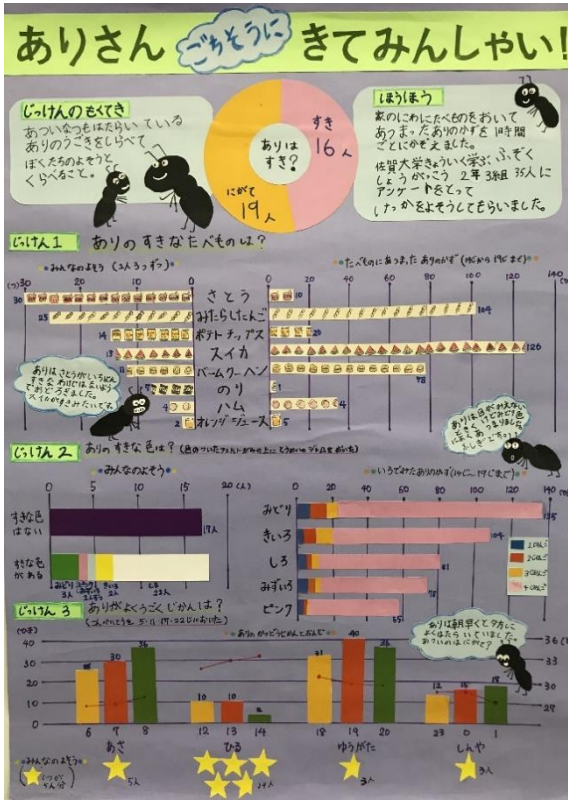
場所：佐賀県庁 新館1階 県民ホール

日時：平成30年12月16日（日曜日）

場所：ゆめタウン佐賀 イーストコート



第1部 (小学校1~2年生)



佐賀大学教育学部附属小学校 2年

荒木 遥太郎

【講評】

最近、アスファルトやコンクリートの地面が多くなり、ありを見かけることが少なくなりましたね。この作品はそんなありに注目した統計グラフです。自分が疑問に思う「ありの習性」を実験のテーマに設定し、自分の眼でしっかりと観察した結果をグラフにまとめています。ややもすると単調になりがちな棒グラフなのですが、色を変えたり、イラストを描き加えたりして、グラフを見る人の興味をひくような楽しい工夫がなされています。

【受賞者の声】

まさか特選とは思わなかったのでおどろきました。先生や家族のみんながよろこんでくれたのでうれしかったです。このテーマをえらんだのは、家にわでいつも働いているありを見ていて、何がすきかや、よく働いている時間をふかしくりたいと思ったからです。しらべてみたら、同じ「あまい」でも、あまさのちがいによって、このみがあるとわかりました。ほくやみんなのよそうとちがっていたのは、大発見だと思いました。

第2部 (小学校3~4年生)



鳥栖市立鳥栖北小学校 3年

坂口 蒼侑

【講評】

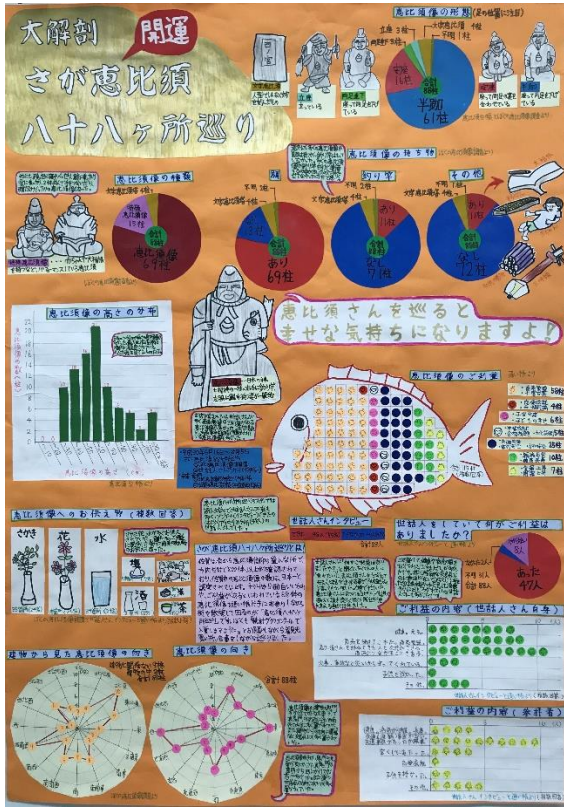
着衣水泳は水の事故への対処方法として、小学校の授業などで1990年代から始まった指導のことですね。水の事故は水着をつけている時にだけ起こるとは限りません。水におぼれてしまう事故の多くは、衣服を着ている状態で起こることも多いのです。このグラフはそんな着衣水泳に対していろいろな角度から、そしていろいろな人たちにアンケートをとって作られています。グラフの種類もイラストも非常に丁寧で目を引く作品です。

【受賞者の声】

クラスの友だちなど、たくさんの人にアンケートに協力してもらって、やっとやっとできあがったので、選ばれてとてもうれしかったです。このテーマを選んだ理由は、水害でもおぼれないために大切なことだと思ったので、みんなにも知ってほしくて調べました。

「着衣水泳」を知っている人は予そうより多かったです。このグラフを見ていろんなことが伝わればいいなと思います。

第3部（小学校5～6年生）



佐賀市立赤松小学校 6年

山本 裕喜

【講評】

多くの都道府県では、恵比須像の多くは神社の境内に祀られているのですが、佐賀県では家々の軒先や道路沿いの街かどに「家内安全」「商売繁盛」などを祈りながら置かれていますね。ある調査では、佐賀市内には恵比須像が828体もあることが判っています。そんな身近な恵比須像から八十八箇所を選んでまとめた統計グラフです。恵比須像のイラストが丁寧に描かれたり、鯛をグラフのベースにしたり楽しい工夫がちりばめられています。

【受賞者の声】

県特選に選ばれて、とても嬉しいです。こうやって県特選に選ばれたのは、調査をしながら恵比須様に「入賞しますように」とお願いしてきたからだと思いました。

恵比須像について調べてみて、特殊恵比須像の中に、鯛を釣り上げている恵比須像や踊っている恵比須像、赤ちゃんをだしている恵比須像とユニークな恵比須像がたくさんあることに気づきました。

第4部（中学生）



佐賀市立昭栄中学校 2年

森 球道

【講評】

5月25日衆議院法務委員会で、そして6月13日参院本会議で民法改正案と関連法の改正案が可決されました。これによって正式に民法が改正され2022年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることが決まりました。この流れに敏感に反応するのは当然若者達でしょう。この作品では諸外国における成人年齢の違いや、友人へのアンケート結果などをグラフ化することによって、期待や不安を具体的に示しています。

【受賞者の声】

中学校の朝の会の時に先生から言われて受賞を知りました。小学2年生から、継続してチャレンジしていますが、今年は格別に嬉しいです。実は全く違うテーマを考えていたのですが、6月に18歳成人が閣議決定されたと聞き、自分達の年からの適用と知り、これだ！と思い急遽選びました。テーマを調べてみて、同級生が意外と18歳成人の詳しい内容を知らないことと市役所がまだあまり考えていないことに驚きました。

第5部（高校生以上・一般）



佐賀清和高等学校 2年 江越 遥南
西九州大学 2年 江越 実咲

【講評】

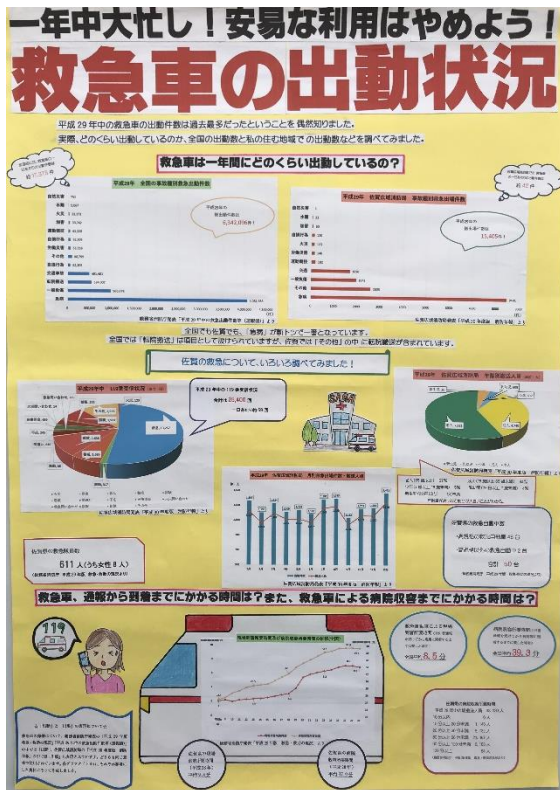
「ラジオ体操」の歴史は古く、1951年の5月6日に放送が開始され、現在のメニューは3代目だそうです。「新しい朝が来た・・・」のオープニングで始まる「ラジオ体操」の放送を聞くと、幼いころの夏休みを思い出される中高年の皆様もいらっしやるでしょう。そんな思いも汲み取りながら、日新校区では「三世代ふれあいラジオ体操会」が続いています。それぞれのグラフやイラストが美しい和紙のちぎり絵によって表現され、心が和みます。

【受賞者の声】

デイサービスで高齢者とコミュニケーションを深める為に行っている、「ちぎり絵」を使って楽しい様子を表現しました。地域の方と一緒に、統計グラフ作品に取り組むことで、まちづくりの勉強にもなりました。これからも、学生や地域活動をされている方々に、統計グラフコンクールのことを広めていきたいと思っています。

一般 江越 みどり/大島 香保子/馬場 桂子

パソコン統計グラフの部（小学生以上）



佐賀県立致遠館中学校 2年 井上 綾奈

【講評】

救急車の救急出動件数は年々増加しています。災害時も含め、救急車は「命を守るため」に日々なくてはならない車になっています。そんな救急車を緊急ではない用件で呼び出す人も増えているようです。そのことで救える命が救えないというケースもあるのです。この作品では救急車の現状をデータで示しながら「安易な利用をやめよう」と呼びかけています。

【受賞者の声】

最初、特選と聞いた時は、「まさか」と驚きました。初めて特選に選ばれ、本当に嬉しいです。このテーマを選んだ理由は、平成29年中の救急車の出動件数は過去最多だったということを知り、実際どのくらい出動しているのか、私の住む地域の現状を知りたいと思ったことがきっかけです。救急の現状について、とにかく知らないことばかりで、全てが私にとって発見でした。知ることがまず第一歩だと思うので、これを次につなげていきたいと思っています。

特別賞

佐賀新聞社賞



有田町立有田中部小学校 3年

岩永 一香

【講評】

住んでいる町を題材にして、調べた情報をユニークに表現されています。えんとつが多い町の特徴を楽しみながら、取り組まれた姿が思い浮かびました。また、グラフだけでなく地図にも落とし込んであり、焼き物の窯元とレンガのえんとつの関係性を分かりやすく理解できます。クラスメートや町民や観光客の皆さんにも知って欲しいとの思いも感じました。住んでいる町を誇りに思い、誰かの役に立つことの素晴らしさを教えてくれる作品でした。

【受賞者の声】

特別賞に選ばれて、とても嬉しいです！町を歩き回って、煙突を数えたり訪ねて回っている時、『新聞記者みたいだな。』と思ったりしました。調べてみて、家の裏側に隠れている煙突が多く、有田の人でも『こんなに煙突があったの！』と、びっくりしていました。窯がガスや電気が変わって、使われていない煙突がたくさんあったことが発見でした。有田焼きをまねして描いたり、煙突の写真をのせて、観光ポスターみたいに見えるように工夫しました。

特別賞

サガテレビ賞



佐賀大学教育学部附属小学校 3年

片淵 薫乃

【講評】

民間放送は広告収入で成り立っているので、CMはなくてはならないものです。作者がCMに注目したのは、番組のいちばんいいところでCMに入るとか、CMの回数が多い等のネガティブな視点からでしたが、逆にそんなCMに興味を持ってもらいました。この作品は、スポンサーの業種、放送される時間帯、回数など丹念に調べてあり、またテレビらしいデザインも目を引きました。作品づくりを通してCMの効果と役割を感じてもらった事を評価して選ばせていただきました。

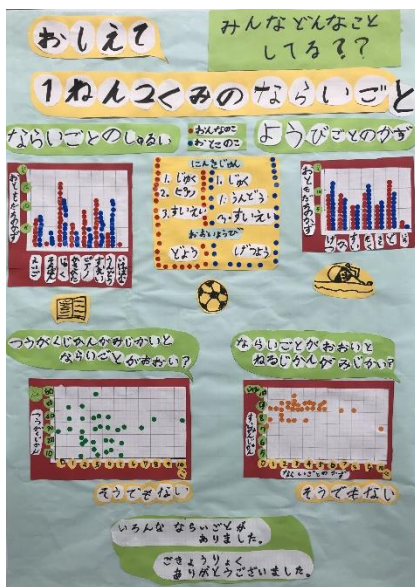
【受賞者の声】

わたしはミランバくんとメガモッツが大好きだったので、サガテレビ賞にえらばれてとってもうれしかったです。調べてみたら、お母さんが見る時間には、日用品や車など大人が使うCMが多くて、子どもが見る時間はゲームや食べ物が多く、佐賀のCMでは、イベントさんかぼしゅうがたくさんありました。2日間の番組をろく画して、CMの一つ一つのタイトルを書くことが大変でした。でも、CMをじっくり見ていると色々なことを知るきっかけとなり、おもしろいCMもたくさんあります。テレビCMはひつようと思いました。



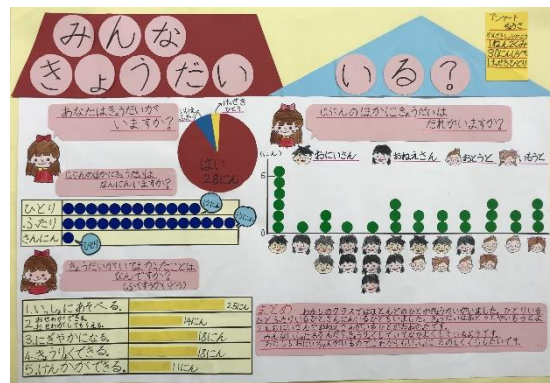
有田町立有田中部小学校 1年

岩永 日翔



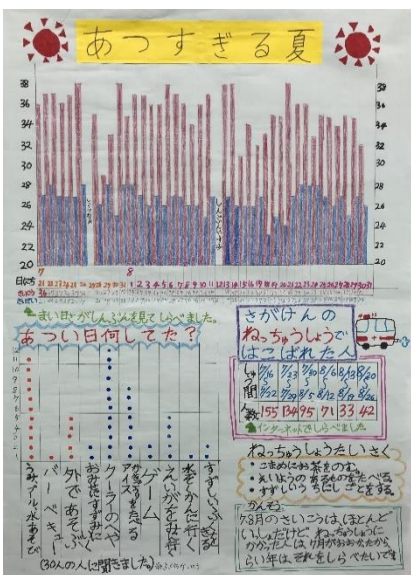
佐賀大学教育学部附属小学校 1年

甘利 夏乙



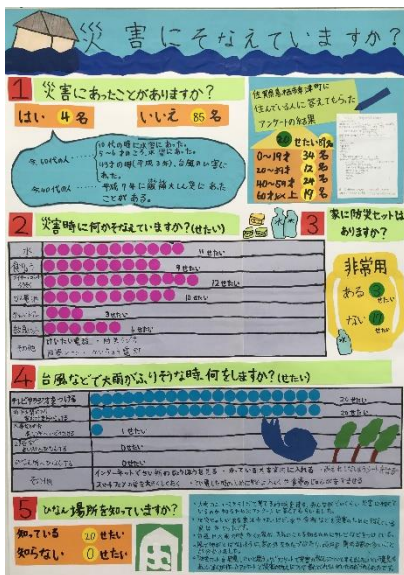
神崎市立神崎小学校 1年

大岡 侑愛



佐賀市立西川副小学校 2年

川原田 陽乃



鳥栖市立旭小学校 4年

豊増 恒生



鳥栖市立麓小学校 4年

白土 夏帆



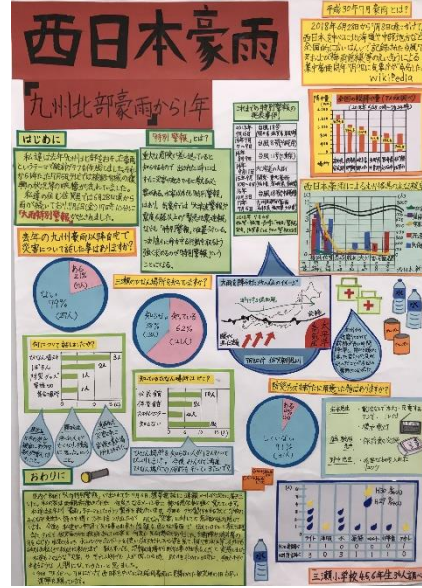
佐賀市立新栄小学校 4年

大坪 航晴



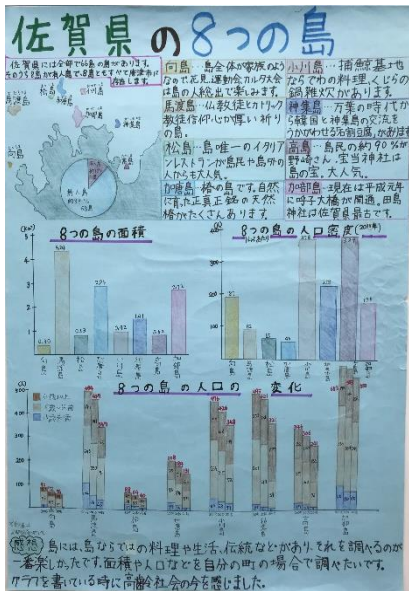
佐賀大学教育学部附属小学校 6年

片淵 薫人/北古賀 正一郎

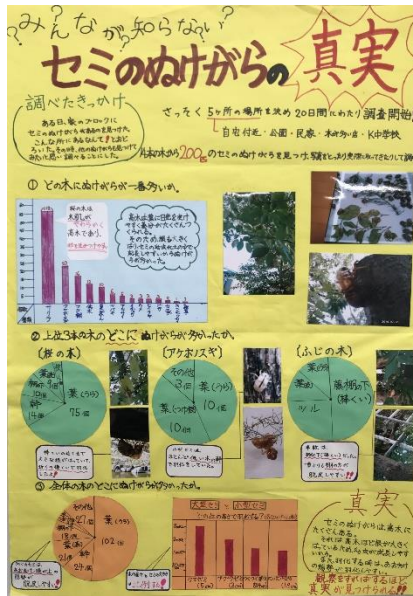


佐賀市立三瀬小学校 6年

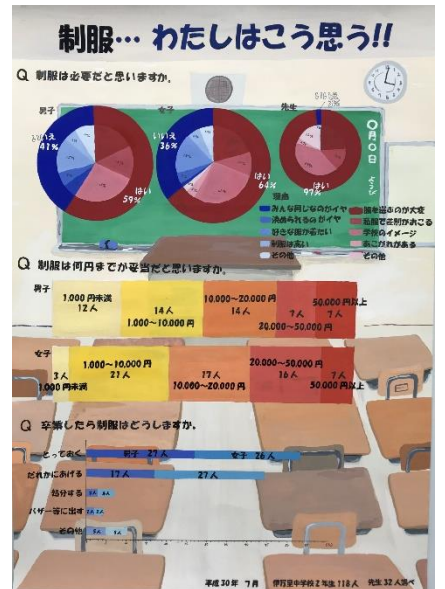
福島 和奏/行武 采音



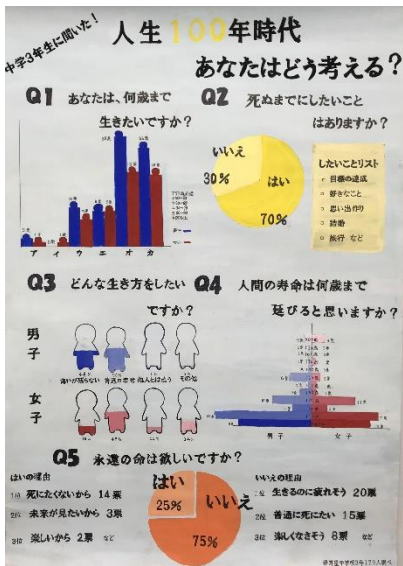
唐津市立佐志小学校 6年
脇山 悠



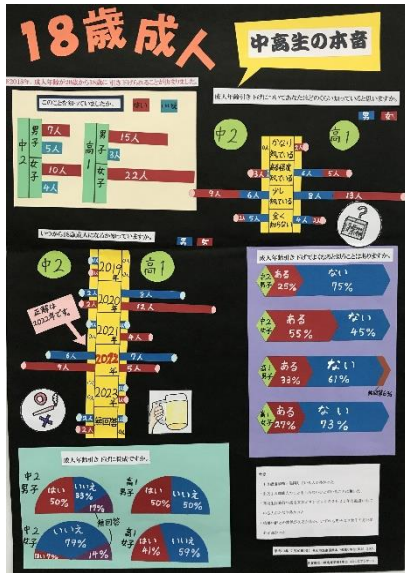
佐賀市立赤松小学校 6年
徳森 真風



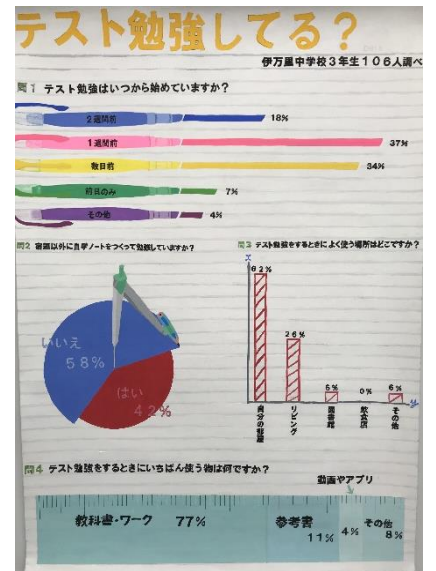
伊万里市立伊万里中学校
3年 横山 晴美/1年 島崎 真央/1年 合戸 美咲



伊万里市立伊万里中学校
3年 小林 由奈/1年 門 未羽/1年 市川 桜



多久市立東原産舎中央校 8年
中尾 幸太



伊万里市立伊万里中学校 3年
犬塚 愛



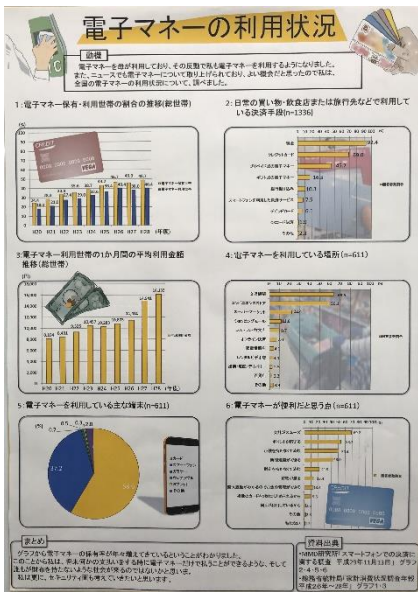
佐賀清和高等学校 3年

江越 由華/吉村 渚沙/大川 なずな/山口 凜花/出 佳奈子



一般

大島 弘子/今井 學/西村 文子/徳光 さつき/棚町 百合枝



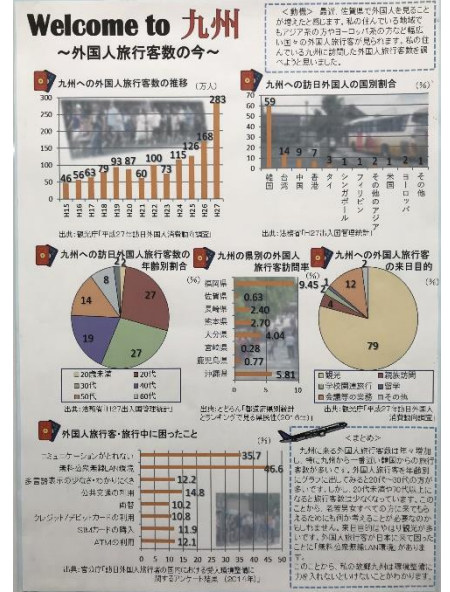
佐賀市立大和中学校 3年

立石 琉希



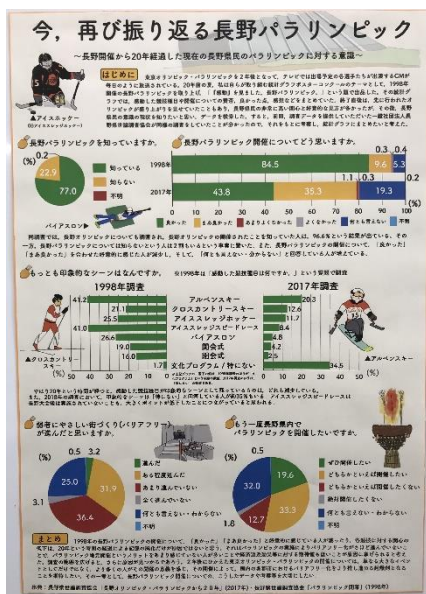
佐賀市立大和中学校 3年

土綿 梨央



佐賀市立大和中学校 2年

向井 樹杏



一般

中村 純一

<佳作>

(第1部)

小城市立三日月小学校	1年 井上 律希
鹿島市立浜小学校	2年 石橋 京典
神崎市立神埼小学校	1年 高崎 乃愛
佐賀市立赤松小学校	2年 山本 達輝
佐賀市立循誘小学校	1年 牛島 陵太
佐賀市立兵庫小学校	2年 渡辺 陽王
佐賀大学教育学部附属小学校	1年 中元 瑛士
佐賀大学教育学部附属小学校	1年 淵上 大希
佐賀大学教育学部附属小学校	2年 木部 誠也
鳥栖市立鳥栖小学校	2年 井筒 珠希
吉野ヶ里町立三田川小学校	1年 松浦 莉桜奈

(第2部)

鹿島市立北鹿島小学校	3年 太田 希彩
神崎市立神埼小学校	3年 石井 杏
神崎市立神埼小学校	4年 大岡 倫侑
佐賀大学教育学部附属小学校	3年 森重 りの
佐賀大学教育学部附属小学校	4年 高場 美帆
佐賀大学教育学部附属小学校	4年 田口 夢彩
多久市立東原庫舎中央校	4年 中尾 文香
鳥栖市立鳥栖北小学校	4年 福田 愛菜
吉野ヶ里町立三田川小学校	3年 中森 舞桜

(第3部)

伊万里市立松浦小学校	5年 大野 陸
伊万里市立松浦小学校	5年 中村 祐之介
鹿島市立明倫小学校	6年 松浦 圭祐
神崎市立神埼小学校	5年 石井 凜
佐賀大学教育学部附属小学校	5年 田中 響貴
佐賀大学教育学部附属小学校	5年 谷口 楓果
佐賀大学教育学部附属小学校	5年 松本 良啓
多久市立東原庫舎中央校	6年 中尾 円香
鳥栖市立弥生が丘小学校	6年 和田 凌河
鳥栖市立鳥栖北小学校	6年 堀田 杏奈

(第4部)

伊万里市立伊万里中学校	1年 泉 百花
伊万里市立伊万里中学校	1年 川副 杏珠
伊万里市立伊万里中学校	1年 合戸 菜々美
伊万里市立伊万里中学校	1年 高柳 瑠花
伊万里市立伊万里中学校	1年 中島 千咲
伊万里市立伊万里中学校	1年 古川 優来
伊万里市立伊万里中学校	1年 松尾 一愛
伊万里市立伊万里中学校	2年 黒髪 春暢
伊万里市立伊万里中学校	2年 武富 葉月
伊万里市立伊万里中学校	3年 江頭 結子
伊万里市立伊万里中学校	3年 田中 涼
伊万里市立伊万里中学校	3年 峯 妃優
大町町立ひじり学園	7年 井田 千秋里
大町町立ひじり学園	7年 牛島 瑠紀
大町町立ひじり学園	7年 中山 実月
大町町立ひじり学園	7年 牧口 竜一
大町町立ひじり学園	7年 松藤 愛梨
大町町立ひじり学園	8年 井上 朋華
大町町立ひじり学園	8年 千綿 麗陽
大町町立ひじり学園	8年 野口 紗良
大町町立ひじり学園	8年 藤瀬 愛梨
大町町立ひじり学園	8年 山口 葉奈
大町町立ひじり学園	8年 山下 美咲
小城市立芦刈中学校	1年 荒木 遥月
小城市立芦刈中学校	1年 北川 瑞季
小城市立芦刈中学校	3年 江口 愛莉

(パソコン統計グラフの部)

小城市立牛津中学校	2年 中村 友希乃
小城市立牛津中学校	2年 持永 凪
小城市立三日月小学校	5年 鍋島 充輝
佐賀市立赤松小学校	5年 松永 歩樹
佐賀市立大和中学校	1年 千綿 一璃
佐賀市立大和中学校	2年 岡本 巧
佐賀市立大和中学校	2年 小山 凌空
佐賀市立大和中学校	2年 鍋島 颯汰
佐賀市立大和中学校	2年 濱本 佑太
佐賀市立大和中学校	2年 福本 准也
佐賀市立大和中学校	3年 武藤 緋奈

佐賀県及び佐賀県統計協会では、次の取り組みを行っています

県内小・中学生を対象に、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知り、統計調査への理解を深めるため、毎年、「統計グラフワークショップ」を開催しています。

1 対 象

県内の小・中学生

2 内 容

統計データの収集・読み取り、グラフ作成のポイントなどの演習を実施します

3 開催日、場所（予定）

毎年6月頃、県内2ヶ所 ※今年度は終了しました

4 参加費用

無 料

※応募方法等、詳しくは県統計分析課（0952-25-7036）までお問合せください

○今年実施しました

「平成30年度統計グラフワークショップ」の内容や様子については、県統計分析課ホームページ『さが統計情報館』に掲載していますのでご覧ください。

